

庁舎建設だより (第5号)

■新庁舎建設に向けて

平成30年8月に現庁舎敷地にて建て替える市の方針を表明し、その後、平成31年度からの設計業務着手に向けて建築計画案の作成を行ってきました。

また、地方財政対策の拡充について国に要望を行ってきたところ、昨年末、市町村役場機能緊急保全事業において経過措置が講じられることとなりました。

こうした状況を踏まえ、2月14日に防府市議会で開催された庁舎建設調査特別委員会においては、市町村役場機能緊急保全事業の期間延長に伴う市の実質負担の低減に加え、既存施設の賃借等による仮設費ゼロの実現や、耐震性のある議会棟の継続使用により、事業費を抑制すること、また、そうした財政効果を活用して、耐震性がない文化福祉会館の機能を庁舎と複合化すること等を提案しました。



新庁舎イメージ図

【市役所前交差点方向から】

設計テーマ

- 市民の生命と財産を守る庁舎
- 時代の変化に対応できる庁舎
- わかりやすく便利な庁舎
- 機能的でエコな庁舎
- 防府らしさが感じられる庁舎

①新庁舎建築の計画テーマ

現庁舎敷地における、行政ゾーンの形成

- 山口県防府総合庁舎機能の移転（要望中）
- 文化福祉会館機能の複合化（検討中）

②取組項目

工期短縮（より早く）、事業費抑制（より安く）

- 仮設費（プレハブ）ゼロを目指す
- 耐震性のある議会棟の継続使用
- 市町村役場機能緊急保全事業（※）等の活用

※市町村役場機能緊急保全事業：熊本地震により2020年度までの時限措置として創設された事業。このたびの地方財政対策の拡充において、2020年度までに実施設計に着手した事業については、2021年度以降も現行と同様の地方財政措置を講ずるという経過措置が設けられることとなりました。

建設スケジュール

より早く

2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
基本計画	基本設計	実施設計	新庁舎建設工事				(年度) 供用開始(予定)

- 建替え工程の合理化等により、さらに早い供用開始を目指します。
- 今後、市民ワークショップやパブリックコメントなどを実施し、市民の皆様の声を設計に反映させていきます。
- 検討状況の詳細は、市ホームページで公開しています。また、進捗状況に応じて、市広報等でご紹介します。

新庁舎建設の財源

より安く

(平成30年8月試算)

【市庁舎のみ】		
108 億円		
市債 58	基金 35	一般財源 15
議会フロア 約10億円 ※起債対象外		←→
市の実質負担 = 108 億円		

(平成30年12月試算)

【地方財政対策の拡充後】			議会棟の継続使用と、仮設費ゼロによる削減効果	
95 億円				
市債 60	基金 35	交付税 18	市負担 42	効果額 9.4
				議会棟分
				仮設費ゼロ分
市の実質負担 = 77 億円				

(平成31年2月試算)

【文化福祉会館機能の複合化】			削減効果を活用した、文化福祉会館の整備	
110 億円 (市庁舎 + 市民サービスの向上)				
市庁舎 95 億円			文化福祉会館	
市債 60	基金 35	交付税 18	市負担 42	複合化事業
				市負担 8
				交付税 7
市の実質負担 = 85 億円				

問 庁舎建設室(1号館2階・☎25-2528)

※イメージ図は庁舎の位置や規模感を見るためのものであり、建物の色や形は簡略化してあります。